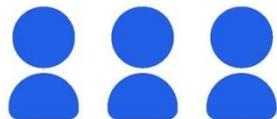


議会報告会

一般会計予算等審査特別委員会

- 審査概要
- 一般会計予算の修正案
- 委員長報告における意見



平成30年5月12日(土)
鎌倉武道館2階 第1会議室

平成30年5月13日(日)
鎌倉市役所本庁舎2階 議会全員協議会室

一般会計予算等審査特別委員会

開催日時：平成30年3月5日～8日、12日、13日
午前9時30分から

(委員長) 日向慎吾	(副委員長) 池田実	武野裕子	西岡幸子	森功一
高野洋一	永田磨梨奈	中村聡一郎	伊藤倫邦	保坂令子

● 審査概要

平成30年度鎌倉市一般会計予算外29議案について審議

会計名		予算額	前年度比
一般会計予算		597億5,290万円	-0.2%
特別会計予算	下水道事業	68億4,960万円	-18.5%
	大船駅東口市街地再開発事業	2,390万円	-61.5%
	国民健康保険事業	182億7,330万円	-15.6%
	公共用地先行取得事業	4億980万円	-77.6%
	介護保険事業	166億2,840万円	-3.3%
	後期高齢者医療事業	55億3,760万円	2.8%

一般会計予算 + 特別会計予算 = 1,074億7,550万円

前年度予算対比、69億1,101万6000円減(-6%)

●一般会計予算の修正案

観光厚生常任委員会からの送付意見を重く受け止め審査。

「ごみ減容化施設については、庁内における手続き、周辺住民への理解・周知、総体的なごみ施策における位置づけ等慎重な議論を願いたい」



生ごみ減容化施設建設に係る各種調査業務及び
建設工事設計委託料

6,946万6,000円を減額

修正案の提出理由

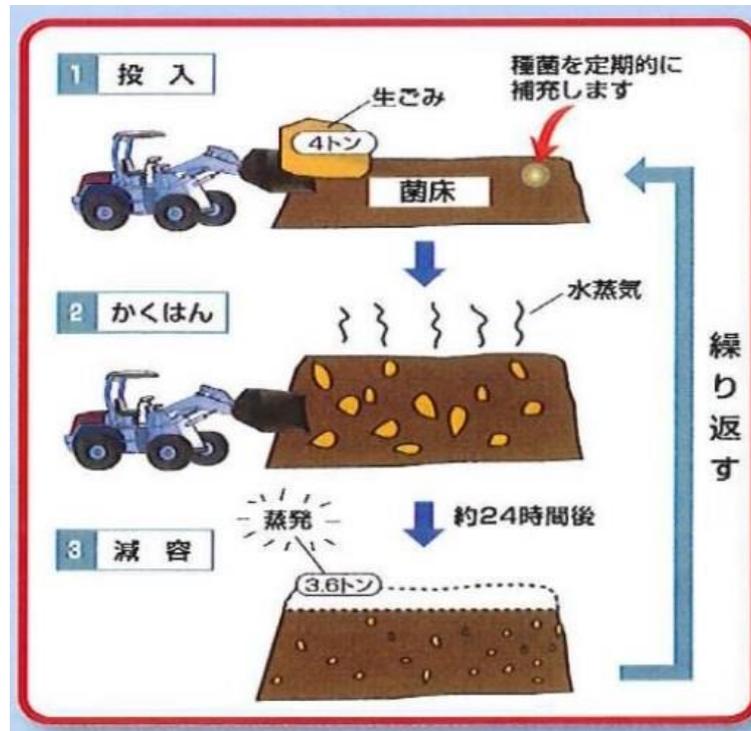
- 平成29年6月から検討、準備が進められていたにも関わらず、議会に対する報告は一切なく唐突に予算計上されてきたこと
- 生ごみ減容化施設の整備が安定したごみ処理につながるか否か判断できなかつたこと
- 山崎浄化センター未活用地に計画している新ごみ焼却施設建設にも大きな影響を与える事業であること
- 新ごみ焼却施設建設の方針を明確にする必要があること
- 生ごみ減容化施設整備の是非については附属機関に諮問し、その答申をもとに予算計上した上で、市民理解を得ながら行政計画として進めるべきであること

修正案について採決を行った結果、多数により可決

生ごみ減容化施設建設とは・・・

微生物を多く含む菌床(木片チップ)を用意し、そこに生ごみをよく混ぜこむと、微生物の作用によって発酵分解。

24時間で90%以上、数か月後には投入した生ごみの98%～99%まで分解・減量可能。



久喜宮代衛生組合「生ごみ減容化(HDM システム)及び堆肥化事業」実証試験
における検証報告.平成29年7月

●委員長報告における意見

①防災対策について

②公共施設再編事業について

③安定的なごみ処理施策について

④空き家等対策推進事業について